



母国への仕送り額は増え、物価高も追い打ちをかけて生活の苦しさは増している。「この状況下では厳し過ぎる。来日をやめる人も出てくるのでは」と懸念する。

⑤

買い物をしている時、横目で見られる。フィリピ
ンから2016年に来日
し、阿南市内で介護福祉士
として働く女性(33)は最
近、同郷の人らと会うとそ
うした話題が頻繁に上ると
いう。「ここ一年ほどで、
外国人を取り巻く雰囲気か
変わってきたと感じる」と
心を痛める。

高市早苗政権は国内の外
国人労働者の増加を受け、
規制を重視する姿勢を打ち
出した。衆院選を前に、1
月末には帰化や永住などの
手続きの厳格化、税・社会
保険料の未納防止策の強化
を盛り込んだ「総合的対応
策」を策定した。日本語能
力向上への支援なども盛り
込まれたが、「共生」のた
めの取り組みよりも規制の
色が濃い。

高市政権を支持している
徳島市の自営業女性(54)は
「はつきりと政策は知らない
けど、厳しくした方がい
い。移民が増え、治安が悪
くなったら嫌だ」と不安を
口にする。

女性日本国籍の取得を
検討しているものの、周り
では2026年度に在留資
格の更新手数料が大幅に
引き上がることを心配の
声も上がる。円安が進んで



神山椎茸生産販売協同組合で働く外国
人労働者＝神山町鬼籠野(山田旬撮影)

上に増えた。「秩序」を求
めつつも、「働き手」は欲
しい。外国人政策はそんな
ジレンマに陥っている。
外国に人手を求める事業
者の思いは複雑だ。神山椎
茸生産販売協同組合(神山
町)では、加盟する6社の
従業員の半数ほどを外国人
が占める。「神山椎茸」の
社長で同組合の糸山達哉参
事(34)は「うちの会社も外
国人が増えてルールを作っ
た。規制の必要があるのは
分かる」と理解を示しつつ、

さず、生活者としての外国
人を支援する政策は十分で
はなかった。
長年、外国人を支援する
県労働者福祉協議会の兼松
文子参与は「今になってさ
まざまな問題が起き、制度
が急激に揺らいでいる。厳
格化する政策と現場の実態
との間にギャップが生じて
いる」と指摘。規制強化が
進むと「事業者や外国人に
対し、行政や専門家の支援
が必要になる」と述べ、日
本語教育など共生の取り組
みへの公的支援の充実も求
める。

今回の衆院選では、中道
改革連合や共産党、社民党
は人権や共生を重視する公
約を掲げる。他方、日本維
新の会は外国人受け入れ数
の制限を打ち出す。参政党
は外国人総合政策庁の新設
や不法滞在の取り締まり強
化を柱に据え、神谷宗幣代
表は第一声で「『移民』を
入れない方が国が安定す
る」と主張した。
政府はこれまで「移民政
策ではない」との建前を崩

外国人政策

厳格化か働き手確保か

「その人自身」を
見てほしい」と訴える。
(北村里沙)